

自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「イキトモ」

水族館と生物多様性



VOL.

11

SPRING  
2016

楽しく学べる環境プログラム

水族館に行こう





## 水族館と生物多様性

日本には多様な生きものの生息・生育環境があります。例えば海について見てみましょう。日本は南北に長く複雑な海岸線を持っています。一方で陸地に迫る深海底もあり、さらに黒潮や親潮を始めたとする海流の影響のもとで、多彩な環境が形成されています。これらの多彩な自然環境には、その環境ならではの多様な生きものたちが棲んでいるのです。世界に生息する127種の海棲哺乳類のうち50種、世界の約15,000種の海水魚のうち約25%にあたる約3,700種が日本近海に生息しています。



## もっと水族館を楽しむために

水族館では、海や川などに暮らす様々な生きものを見ることが出来ます。また希少動物の保護といった「種の保存」、生物の生態や飼育に関する「調査・研究」はもちろんのこと、ガイドツアーによる生きものの説明、飼育体験教室、観察会・公開実験などを通じた「生きていること」を理解するための取り組みや、生きものが快適に暮らせるように配慮しながら楽しい時間を過ごすことができるための展示や解説の工夫も行っています。身近な水族館に行って、楽しく生物多様性について学んでみましょう。



# 海遊館

実物でしか味わえない  
命の感動を届ける  
世界最大級の水族館。

大阪府大阪市港区海岸通1-1-10 TEL 06・6576・5501  
10時～20時(季節により変動あり) 1月・2月に4日間休

火山活動のある地球と生きものはお互いに作用する、  
ひとつの生命体であるというイギリスの科学者ラブックの  
提唱するガイア仮説をコンセプトにした水族館。実際の地球環境をできる限り再現し、生命のすばらしさや自然環境を紹介しています。

「新体感エリア」では海の世界に入り込んだかのように生きものを見て、聞いて、触って、  
においも体感できます。



イワトビペンギンはフォー  
クランド諸島ゾーンで。



新体感エリアの北極圏ゾーンではワ  
モンアザランを間近に見られます。

世界の様々な海や世界最大級のペンギンの展示などを専門家と歩くガイドツアーを毎日開催しています。そのほか、幼児から大人まで、様々な年齢層に対応した教育プログラムが用意されています。また「移動水族館」として専用トラックやワゴン車で、来園が難しい人たちへ海を届ける活動も行っています。

移動水族館での教育イベント出展の様子。



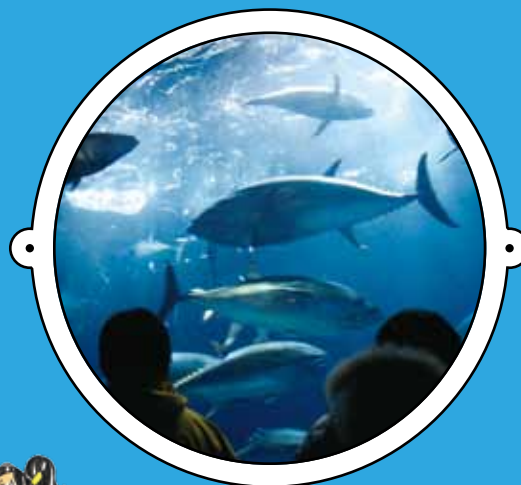
裸足で遊べる「蛇の目ビーチ」は磯・干潟・砂浜を再現した屋外体験施設。



# 葛西臨海水族園

600種を超える、  
世界の海の  
生きものに出会える。

東京都江戸川区臨海町6-2-3  
TEL 03・3869・5152  
9時30分～17時  
水曜休(祝日や振替休日、  
都民の日の場合は翌日休)



# アクアマリンふくしま

黒潮と親潮が出会う、  
太平洋の「潮目」を  
テーマにした水族館。

福島県いわき市小名浜字辰日町50  
TEL 0246・73・2525  
9時～17時30分  
(12月1日～3月20日 9時～17時)  
無休

水族館の屋外に広がる「蛇の目ビーチ」は海辺の自然を再現した世界最大級のタッチプール。ワークショップやバックヤードツアーなどの体験プログラムが豊富で、特に子ども体験館「アクアマリン えっく」は子どもたちが楽しみながら生きものを観察できます。釣り体験では釣った魚を自分で調理し、食べることで、命をいただくこと、命の尊さを実感できます。



釣り体験で釣った魚は唐揚げでいただきます。

水族館では生物や環境のことについて学べる独自のプログラムがたくさん。水族館で楽しみながら、生物多様性について学びましょう。

# 水族館で 参加しよう 様々な教育プログラム

ドーナツ型の巨大水槽でマグロが群泳する姿は迫力の展示。







### 池谷幸樹

(世界淡水魚園水族館アクア・トトギス  
展示飼育チームリーダー)

いけやこうき 学芸員として展示生物全般の飼育業務に携わる。長期飼育、繁殖のための調査研究、希少生物の保全活動なども行う。

## INTERVIEW

# 水族館の種の保存と啓発活動

**Q** 日本動物園水族館協会に属する生物多様性委員会の種の保存事業部の魚類の担当ですね。

**A** 魚類のコーディネーターとして絶滅危惧種を中心に水族館、動物園でのコレクションンプランを作成し、発表しました。国内希少種を20種類選び、そのうち19種類は淡水魚でした。閉鎖水系の淡水魚の生息域は私たちの生活圏と重なるため、事態は切迫していて保全やそれに伴う研究が進んでいます。海水魚はこれから増やす予定です。

**Q** 具体的にはどんな魚が？

**A** 天然記念物のイタセンバラやアユモドキ、ハリヨなどがあります。「アクア・トトギス」でもこれらの飼育展示をしています。各種の生息域に近い水族館の中から、中心となって活動し

てもらおう館を決めて、飼育プランを作ります。

**Q** 一般へはどのような普及啓発活動をされていますか？

**A** 私たちの館は岐阜県の濃尾平野に位置しています。この地域の絶滅危惧種や固有種についてのレクチャーを行っています。またフィールド活動として国や自治体と協働で、木曾川のイタセンバラの勉強会や観察会も実施しています。

**Q** 対象となるのは？

**A** 広く子どもから大人まで、最近では中学生・高校生に力を入れていきます。生物の保全は、中学生以上でないと理解が難しいようです。昨年度からは学校の生物部に、イタセンバラを約10匹ずつ貸し出し、飼育してもらうことを始めました。

**Q** 実際に飼育すると、さらに興味を持つことができますね。

**A** 飼育だけでなく、学生たちが魚類学会での発表や企画展を行えばいいなと思って、現在、画策しているところです。

**Q** 水族館が生物多様性に果たす役割をどう考えますか？

**A** 日々の飼育でも、水族館では生態系の多様性や遺伝子の多様性を実感することが多く、生物多様性の大切さを痛切に感じています。多くの来館者にかわいいや楽しいだけでなく、ためになる展示や活動を、是非体験してほしいですし、その機会が増えればいいと思っています。生物や環境と人間との間を取り持つために、水族館ができることはまだまだあるなと感じています。

駿河湾の深海生物の展示場。開館以来約40数年収集された深海生物の標本を展示しています。

ブラックマンタの姿はここでしか見られない。



全長8.6mものジンベエザメやナンヨウマンタをはじめ、様々な魚たちが泳ぐ「黒潮の海」大水槽は圧巻。そんな大水槽の魚たちの生態を水上面から自由に観覧できる「黒潮探検」や水槽解説、給餌解説、飼育員が詳しく解説する「わくわくアクアラボ」といった学べるプログラムをはじめ、標本や生体を使った触察など、本格的なプログラムも実施しています。

## 沖縄美ら海水族館

沖縄の神秘の海を体験できます。

沖縄県国頭郡本部町石川424 (海洋公園内) TEL 0980・48・3748  
8時30分～18時30分 (夏期3月～9月 8時30分～20時)  
12月第1水曜とその翌日



生きものだけでなく海そのものも理解できる博物館。

## 東海大学 海洋科学博物館

静岡県静岡市清水区三保2389  
TEL 054・334・2385  
9時～17時 火曜休 (祝日の場合は開館)

博物館が面している駿河湾は日本一深い湾で、世界でも有数の深海湾です。最深部は2500mもあり、湾の奥まで入り組んだ1000mを超える深海底には、多種多様な生きものが暮らしています。そんな貴重な深海生物など、駿河湾の生きものたちが展示されています。また教育プログラムの中には実物のミズウオ(深海魚)を使ったものもあります。



水族館の人気者クマノミを展示するリング水槽。

沖縄美ら海水族館の人気展示。沖縄の海を育む黒潮に生きる大型回遊魚たち。





生物多様性のことを多くの人に知ってもらうために、2012年9月に旗揚げした様々な団体のキャラクターによる広報組織です。



## 生物多様性 キャラクター応援団

～全国のキャラクターからのおしらせ～

ペンギンの飼育種類が9種類と世界一を誇る「長崎ペンギン水族館」。水族館のPR大使であり、長崎島の観光大使にも任命されたアバちゃんは、生きものの生命の素晴らしさや大切さを多くの人たち知ってもらおうと‘年中夢求’でアピールしています。



アバちゃん

(長崎ペンギン水族館)

## 認定連携事業



生物多様性を守るために連携して取り組んでいる事業を認定し、広報活動を行っています。

### 「えのすいeco」エコアクション

新江ノ島水族館

「えのすいeco」とは新江ノ島水族館が取り組む、独自の環境活動です。生物に関するエコロジー（生態学）とエコアクション（環境を考える活動）の2つの側面から、生物とそれらを取り巻く自然環境を楽しく学んでいきます。相模湾に隣接し、湘南に位置する水族館として、ビーチクリーンやビーチコーミングでの生物観察、ワークショップ、中高生による水槽展示制作などを行っています。毎月第3日曜日には「えのすいecoデー」を実施。楽しみながら環境活動を行っています。



<http://www.enosui.com/ecotop.php>

100

### 「生物多様性の本箱」から ～みんなが生きものにつながる100冊～

生物多様性の理解や普及啓発のためにUNDB-J推薦「子供向け図書」を選定しています。



『海と空の約束』

著=にしたにひろし  
絵=ありむらあや

出版社 =  
神戸新聞総合出版センター

太古より固い絆で結ばれてきた海と空の友情が生んだ、心あたたまる絵物語。水と生物の関係がやさしく描かれています。2011年4月には日本語と英語の併記版も発行されました。「海と空の約束プロジェクト」としてJICA（国際協力機構）や教育機関などに寄贈され、環境教育活動にも活用されています。

国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）「国連生物多様性の10年」の決定を受けて、2011年9月に設立。生物多様性の主流化を目指して国内外のあらゆる主体が連携し様々な取組を進めています。